



# 漁協利用率の高い

## 神戸市・岩見・香住町漁協

(70.0%) (70.4%) (74.5%)

### 第八回 漁家経済調査結果

過般五十四年十月三十一日 備付強化運動の一環として、日を基日として県下一斉で、二年毎に組合員の預貯金に実施した第八回漁家経済調査の結果がまとまりましたので報告します。

本調査は漁協信用事業として行っているもので、近年、本県漁業界は、二〇〇海里規制、赤潮等による漁獲の減少、全国的な魚価安、三枚であり、回収率は六六などの難問をかかえ、まどと前同(五一%)を大幅に上回った。

(表1) 海 区 別 回 収 状 況 表

海区	配布枚数	回収枚数	有効枚数	無効枚数	回収率	実効
播磨海区	1,561	1,057	784	273	67.7	50.2
淡路海区	2,169	1,222	836	386	56.3	38.5
但馬海区	1,597	1,234	1,027	207	77.3	64.3
県 合 計	5,327	3,513	2,647	866	66.0	50.0

**回収率は66パーセント**

本調査は信用事業実態調査中、水加工協を除く三十九組合漁家数約五、三〇〇戸を対象にして無記名で行った。

**平均利用率は52.7パーセント**

この調査は、十月末という時期で、前同(五二%)より資金の流出が考へられるが、漁協の外部活動の弱さ、サビシ面の不徹底も大きな要因と思われる。

**回収状況**

調査票の回収率は表一のとおり五、三二七枚中回収されたのは、三三六組合三、五一員意識の向上がみられた。

(表2) 年度別預貯金利用先別比率表 (%)

年 度	漁 協	銀 行	相 銀	互 行	信 信	金 組	農 協	郵便局	その他
昭和40年	42.7	13.9	4.3	7.0	8.5	10.1	13.5		
42年	54.8	10.2	3.4	6.0	9.3	8.4	7.9		
44年	50.4	12.6	3.6	8.9	9.0	7.6	7.9		
46年	50.5	10.0	2.0	11.3	11.3	7.0	7.9		
48年	53.7	11.8	2.0	8.2	9.0	7.2	8.1		
52年	56.7	12.6	2.7	8.8	6.3	7.6	5.3		
54年	52.7	13.0	2.9	11.6	6.7	9.8	3.3		

**銀行利用は平均13パーセント**

その他金融機関利用状況

預貯金のその他金融機関利用状況は表二のとおりであるが、内訳として

- 銀行利用...三〇%台
- 二〇%台が四組合
- 一〇%台が十五組合
- 一〇%台が十五組合といぜん
- 銀行の利用率は高く、県下平均でも一三%である。
- なほ、都市部の組合では漁協利用率を上回っているところもみられる。
- 相互銀行利用...淡路南部など一部地域で高い利用率を示しているが、他地域では五五%以下にとどまっている。
- 信金・信組利用...播磨海区では八〇%台の利用にとどまっているが、淡路海区では、三〇%以上が六組合
- 二〇%台が三組合
- 一〇%台が七組合
- 九組合、平均利用率は四九%である。
- 但馬海区の利用率は六%である。
- 郵便局利用...県下平均は六、七%である。
- 農協利用...県下平均は六、七%である。
- 金組利用...県下平均は六、七%である。
- 相銀利用...県下平均は六、七%である。
- 互行利用...県下平均は六、七%である。
- 漁協利用...県下平均は六、七%である。

**組合別漁協利用状況**

これを機会に原因を徹底し、改善することの向上につとめたい。

**組合別漁協利用先状況**

組合別の漁協利用状況を海区域別にみてみると、

- 播磨海区では、岩見(七〇・四%)、神戸市(七〇・〇%)のように高い利用率を誇るという組合もあるが、反面利用率五〇%以下という組合も一組合、七組合をそれぞれ占めている。
- 淡路海区は相対的に漁協利用率は低く、四〇%以下の組合が二十組合中十四組合もある。わずかに南淡的に安定した率を占めてお別利用率は表三のとおり

**経営者・従事者別利用状況表**

(表3)

	漁 協	銀 行	相 銀	互 行	信 信	金 組	農 協	郵便局	その他
経営者	52.4	13.0	3.1	12.0	6.2	10.2	3.1		
従事者	54.8	12.6	1.3	9.6	10.0	7.1	4.6		
平均	52.7	13.0	2.9	11.6	6.7	9.8	3.3		

**利用率の高い従事者**

組合であるが、但馬海区の組合がすべて一〇%以下であるため、県平均利用率は八組合、一〇%台が十五組合、八%となっている。

であるが、経営者・従事者ともに漁協利用率は五〇%台であり、わずかに従事者の方の利用率が高い。

経営者では、漁協の次に銀行・信金・信組・郵便局となっており、従事者は、漁協、銀行、農協、信金・信組となっている。

以上のような利用状況は、それぞれの地域の特徴を反映しており、容易に比較できる問題ではないが、積極的な状況を把握し、今後の貯蓄推進の参考課題としてなお一層漁協利用率に動まられるようお願いする次第です。

最後に、本調査にご協力いただいた組合員並びに組合役員員の皆様に対し厚くお礼申し上げます。

## 躍進—政治力結集運動の展開

### (財)兵庫県水産公害対策基金

時代の節が、また一節伸びて、一九八〇年代が始まった。

一九七〇年代を振り返ってみると、全業種の中でも、水産業界は、他には少ないであろう。

その中でも水産にとって大きな業種の一つは、約十年前から本格的に伸張したのり養殖であった。内海側漁村の経済基盤の確立が図られたことである。

しかし、一面PCB問題に始まり、赤潮、油汚染等、公害の問題は、今もその影響を少くも受けつつ漁業を営んでいる。

しかしながら、八十年代を迎えた今、漁業者が九十年代に、さらに二十一世紀に向けて、安定的に漁業を営める、諸条件を整備を急がねばならない。漁業生産基盤の整備は、漁業に対する十分な対策が講じられるようにすることである。

このためには、深い洞察力と広い視野のほかに、本当に水産業を愛する情熱を持つた人物を擁護の場に登場させることが第一である。

大河原太一郎氏は、農林省を農林水産省に省名変更させた、生みの親であり、また農林水産省の初代大臣であることでもわかること、正念場、立たされた日本の水産業の将来を信頼して託すに値する人物である。水産業界のために情熱を傾け、本県水産業の発展と、漁業者の福祉の向上に、全力を注いでくれる人物であることを確信する次第である。

幸い、本県の全漁業団体は挙げて、大河原太一郎氏に、大きな期待と信頼をかけ、絶大な支援を送ってくれて、このことをお祈りして、皆様方の一助の御協力をお願い申し上げます。



時代の節が、また一節伸びて、一九八〇年代が始まった。

一九七〇年代を振り返ってみると、全業種の中でも、水産業界は、他には少ないであろう。

その中でも水産にとって大きな業種の一つは、約十年前から本格的に伸張したのり養殖であった。内海側漁村の経済基盤の確立が図られたことである。

しかし、一面PCB問題に始まり、赤潮、油汚染等、公害の問題は、今もその影響を少くも受けつつ漁業を営んでいる。

しかしながら、八十年代を迎えた今、漁業者が九十年代に、さらに二十一世紀に向けて、安定的に漁業を営める、諸条件を整備を急がねばならない。漁業生産基盤の整備は、漁業に対する十分な対策が講じられるようにすることである。

このためには、深い洞察力と広い視野のほかに、本当に水産業を愛する情熱を持つた人物を擁護の場に登場させることが第一である。

大河原太一郎氏は、農林省を農林水産省に省名変更させた、生みの親であり、また農林水産省の初代大臣であることでもわかること、正念場、立たされた日本の水産業の将来を信頼して託すに値する人物である。水産業界のために情熱を傾け、本県水産業の発展と、漁業者の福祉の向上に、全力を注いでくれる人物であることを確信する次第である。

幸い、本県の全漁業団体は挙げて、大河原太一郎氏に、大きな期待と信頼をかけ、絶大な支援を送ってくれて、このことをお祈りして、皆様方の一助の御協力をお願い申し上げます。

紀に向けて、安定的に漁業を営める、諸条件を整備を急がねばならない。漁業生産基盤の整備は、漁業に対する十分な対策が講じられるようにすることである。

このためには、深い洞察力と広い視野のほかに、本当に水産業を愛する情熱を持つた人物を擁護の場に登場させることが第一である。

大河原太一郎氏は、農林省を農林水産省に省名変更させた、生みの親であり、また農林水産省の初代大臣であることでもわかること、正念場、立たされた日本の水産業の将来を信頼して託すに値する人物である。水産業界のために情熱を傾け、本県水産業の発展と、漁業者の福祉の向上に、全力を注いでくれる人物であることを確信する次第である。

幸い、本県の全漁業団体は挙げて、大河原太一郎氏に、大きな期待と信頼をかけ、絶大な支援を送ってくれて、このことをお祈りして、皆様方の一助の御協力をお願い申し上げます。

このように状況を踏まえて、基本的に重要なことは、水産業が、国民食糧の供給という、重要な役割を広く国民に

認識してもらい、また国政レベルでも正当な評価を行い、水産業に対する十分な対策が講じられるようにすることである。

このためには、深い洞察力と広い視野のほかに、本当に水産業を愛する情熱を持つた人物を擁護の場に登場させることが第一である。

大河原太一郎氏は、農林省を農林水産省に省名変更させた、生みの親であり、また農林水産省の初代大臣であることでもわかること、正念場、立たされた日本の水産業の将来を信頼して託すに値する人物である。水産業界のために情熱を傾け、本県水産業の発展と、漁業者の福祉の向上に、全力を注いでくれる人物であることを確信する次第である。

幸い、本県の全漁業団体は挙げて、大河原太一郎氏に、大きな期待と信頼をかけ、絶大な支援を送ってくれて、このことをお祈りして、皆様方の一助の御協力をお願い申し上げます。

今年で二六回をむかえる全国漁村青年婦人活動実績発表大会が二月二七日、二八日の二日、東京水産大学で開催されます。

二六回は全国の漁村で

活動実績発表大会

2月27・28日東京で開催

同大会は農林水産省参加行事としてこれまで数回、各都道府県の代表者のルーパが天皇杯、内閣総理大臣賞を獲得するなどの実績をあげており、その研究結果は詳しく詳述されてきて

本県からは、沼島漁協青年部が参加、「魚礁漁場の有効利用について」を発表する。

第七回全国婦人水産業グループ活動実績発表大会

同大会は二月二一・二二日の二日、東京都市センターで開催される。

本県からは、明石浦漁協婦人部が「私たちの婦人部の実績と今後の婦人部活動について」を発表する。





# 張り替え後の作柄は良行

## 羅病網の早期摘採・冷蔵網との張替を

### 兵庫県漁連のり漁場調査始まる

県下の沿岸主要漁場での水質環境等を定期的に調査し、業界の自主的な立場において、つねに漁場環境の動向を把握するために、兵漁連では1月下旬より、のり漁場の環境調査を始めることとなった。

これは、去る5月より実施されていた赤潮調査をひきつづぐもので、今からはのり養殖を主体としたもので、紫菜類をはじめ、作柄等について調査を実施し、調査地点は、赤穂をはじめ

### 大半の漁場で冷蔵網と張り替え

#### 冷蔵網と張り替え

今回は季節風のふきすぎなどの好天時に調査したため、割合、作柄は順調。先づ、水温は西播は10℃、明石9℃、淡路西、東播、神戸の3mを除き、5と10℃台、南播11℃台を示し、のり生産の主力漁場は10℃以下。

次に塩分では陸路のせい、全般的に低め、透明度は、明石の3mを除き、5と10℃台、南播11℃台を示し、のり生産の主力漁場は10℃以下。

### 漁協ちよつとのぞきみ

#### 家島漁協のみなさん



家島漁協は播磨灘に浮かぶ家島群島の家島町にあり、主産品はのり、ハマチ養殖で昭和52年度の水揚げは約8億円でした。漁家数は一八〇戸で組合員は二二一名です。

家島漁協のみなさんを紹介します。

組合長 中村 与助さん  
 参事 塩沢 徹さん  
 船長 橋本 修さん  
 石油係 松浦 孝夫さん  
 冷蔵係 奥浦 謙三さん  
 機関士 安田孫太郎さん  
 石油係 松本 義一さん  
 庶務 八木 敏男さん  
 資材係 北脇 秀高さん  
 センター

中川さのぶさん  
 経理係 北脇 市恵さん  
 会計 島野理恵子さん  
 販売係 吉宮 明美さん  
 販野美智子さん  
 貯金係 福山 光代さん  
 貸付係 中村 満子さん

### 各地区の状態

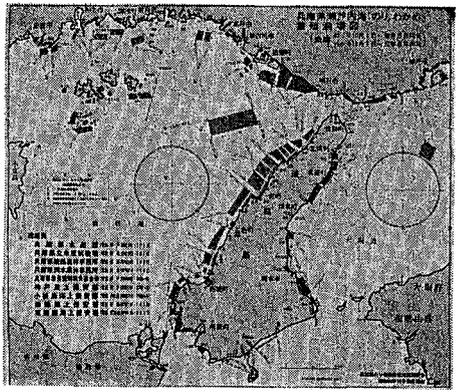
#### 西播地区

赤穂、網干の中心漁場を調査した。1月28日現在、水温では赤穂15℃、網干沖合で10・4℃、塩分(S%)29・2%と低め。CODは赤穂1.6、網干1.2 P.P.M.、透明度5mで良好。両地区とも網は張り替えが早く、赤穂で全部、網干で6割程度、張替後の網の成育は順調である。

現在、球藻リクモホラの付着は多く、またアカガサ

#### 東播地区

東二見、林崎、神戸を中心に調査した。1月28日現在水温では明石地区で9℃台、神戸でややく低く7.1℃。塩分は明石で29%、神戸28%と低め。CODは明石で1.2 P.P.M.で低め、神戸では3m



今後の問題としては、アレは赤穂に多く発生しているが、カササレが各所にみられ、おり繁殖はしてはいるが、今後の海況により張り替えへの感度を防ぐ意味で、羅病網の早期摘採、冷蔵網に張り替えは1月上旬に調査した。

淡路西浜地区  
 室津浦、那家を中心に調査した。1月28日現在の水温では9.8℃。塩分30・3と5%。COD1・1 P.P.M.以下。透明度は8mと高め。

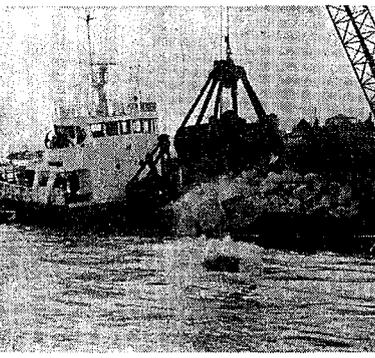
淡路東浜地区  
 森、由良を中心に調べた。1月28日現在、水温10℃台。塩分30・3%。CODは森1.2 P.P.M.、由良0.9。透明度森7m、由良6m。由良では5割程度張り替えているが、1月下旬になりよくなって来た。森では7割が張り替えられている。

アカガサは森に多く、由良に少ない。球藻は由良に多く、森に少ない。森では成長にともない幾分繁殖補給が悪いように思われる。

### 赤穂丸山地区先で築磯づくり

特定地域振興対策事業の業務水産課では磯根資源をひとつとして赤穂丸山地区先ですすめられていた投石による築磯づくりが一月二十九日に完了した。

これは従来より磯根資源を対象とした漁業が盛んであったが、近年は環境の変化で漁獲が減少していた。これに対して姫路農林事



丸山沖で投石する作業船

### 第二回全国海の子絵画展 全漁連会長賞を受賞

全漁連では昨年引き続い受賞することとなった。この作品展は海を愛し、漁業を育てる意識の高揚を図るとともに漁業後継者育成の一環として、小中学生を対象に実施されている。これに先だって催された本県絵画展には内海、但馬から小学校の部三〇展・中学校の部八展の応募があった。今回受賞した方は

◎小学校の部  
 立山 ゆう一郎(姫路市立妻岡小学校2年)

◎中学校の部  
 中津 育子(南淡町立沼島中学校3年)

受賞作品は日本都市センター(東京)で二月二、三、二日・二七、二八日の間展示される予定です。今後もし引き続き作品の募集を行う予定ですから奮って応募されることを期待いたします。

オートボ式 全自動海苔製造機 ダイオート

東日本総代理店 アイサン工業株式会社  
 愛知県西尾市寺津町二丁目26番地 電話05635-9-7181

一滴の燃料を生かす確かな技術

## 余裕の出力、曳き力抜群!

船主主機用3.0~2400馬力 ● 船主補機用3.5~3600馬力 ●

船主主機用ヤンマーディーゼル <内海底曳用> 3EH15 (定格15馬力 / 1440回転)

ヤンマーディーゼル

ヤンマーディーゼル株式会社

